

やまがた

元氣

農の風

NO.19

なかむら

中村

たいき

大樹さん

アスパラガス栽培と子育てを両立
山形県戸沢村のイクメンファーマー



経営のきっかけ・こだわり・思いをお聞かせください。

米農家である父の後を継ぐため5年間勤務した銀行を退職。令和2年4月から山形県立農林大学校の新規就農支援研修を受講しつつ、アスパラガス栽培が盛んな最上町の農家で栽培技術を習得し、令和3年4月に就農しました。アスパラガス栽培を選んだのは、水稻作業が忙しい春と秋の合間で出来る露地栽培であり、反収が良いこと、さらには当村で栽培している農業者が少なく、生産競合しないという利点があったためです。

現在は、水稻、大根、アスパラガスを家族（両親、妻）で栽培しており、銀行員の経験を活かして、営業で培った人脈づくりや、販路の拡大を見据えた収支計画づくりを行っています。



就農2年目を迎える中村大樹さん



農業の魅力について
お聞かせください。

就農前は、夫婦共稼ぎで就学前の2児の育児と仕事で時間に追われた生活でしたが、今は夫婦ともに就農し、育児と農業の両方の時間を大切にできるようになりました。自ら時間を自由に設定して働けることが、農業ならではの魅力であり、家族そろってご飯を食べることの幸せを実感しています。

また、農業は頑張って育てた分だけ、収穫する喜びがあり、やりがいを感じています。



順調に育つ様子（左）直売所に出荷するアスパラガス（右）



今後の経営、目標や夢、
将来展望をお聞かせください。

今後は、アスパラガスの品質向上に注力しながら面積を拡大していく予定です。

一方で水稻は、年々耕作を請け負う面積が増えており、父と共に地域の担い手として、耕作放棄地解消などに貢献していきたいです。将来的には、家族で法人経営を目指したいですね。



収穫を迎えたアスパラガスの圃場



東北農政局 山形県拠点 地方参事官室

TEL:023-622-7231/FAX:023-622-7256

